



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.63 2016年9月

議会
報告

文教市民委員会

マイナンバーカードで コンビニで証明書交付

市は今年の12月から各証明書のコンビニ交付サービスを開始するとしています。

高槻市のマイナンバーカードの申請・交付の状況は2016年5月末現在、申請数は35,286件、甲負数は8,314件と市民に広がっているとはいえない状況です。また、カードを失くして番号を変更された方は5月末で121件、コピーした際の取り忘れや財布を落としたということですが、印鑑

登録証などは高価なものも売買にも使われず、コンビニでなくても、今まで通り、役所で交付できることも知られるように、要望しました。

小中一貫教育よりも 35人学級にも 中学校にも

小中一貫教育の取り組みが進められようとしています。今年度は4回の施設一体型小中一貫教育の検討委員会を経て、5回目の検討委員会が開かれる予定です。

検討委員会のメンバーに保護者や地域住民は入っていません。なによりも、子

どもや保護者の意見を聞くようにと要望しました。

施設一体型になれば、失敗したからと言ってもとに戻すことは困難です。本当にきめ細かく子どもに接していくためには、中学校でも35人学級の実施が必要ではないか、国の制度

だから進めるのではなく、子どもたちにとって何が一番いいのかを考えていくべきだと、意見を述べました。

小学校 35人学級にして

たりの人数が少なくなつたことで、より一層きめ細かな学習指導ができるようになっており、年度末の評価でも学習目標に達している児童が9割を超えている。保健室に行く子どもが前年度より2,500人も減つている」と、昨年の7月議会で教育指導部長が答えています。

家族葬式場が増えます

家族関係や、葬式に対する考え方も変わってきて、家族葬をする方が増えてきました。

今年10月から、市の葬祭センター2階に定員25名の式場が新しくできます。式場使用料10万円、葬儀料6万8,000

円。合計16万8,000円。



地方分権推進委員会

島本町のし尿処理を高槻市で受ける ことについて

島本町のし尿処理を高槻市で受けることが話されています。島本町のし尿処理場は、現在高槻市、上牧地域にあります。昨年、この問題の話がされ、島本町

からは跡地を高槻市に譲与したいとの申し入れもありました。長年の周辺地域住民の要望が解決されることはいいいことだが、唐崎クリーンセンターの地域、上牧

地域とも、島本町・高槻市両方できちんと住民のみなさんに説明をするように、要望しました。なお、島本のし尿処理場の土壌調査をし、有害物質は出てきてないということです。

保育士の配置基準の 規制緩和ではなく保 育士の確保を

条例改正で、職員のうち、資格を持った保育士が3分の2で良いとされました。

現在0歳児は9人に保育士3人、1歳児は18人を保育士3人でみています。0歳児、一歳児は月齢によっても大きく違います。遊びも違うので2つか3つのグループに分かれて保育することもあります。そんな時に資格のない人がいると、グループ分けもしにくくなります。保育には専門性が求められます。また、保育士の資格がなくても、

看護師や准看護師の資格でも保育士とみなすことができるということに加え、今回、幼稚園教諭もしくは小学校教諭、養護教諭の免許を持っている人でも保育士とみなすことが付け加えられました。

市は「有資格者の配置を優先、保育士確保に取り組む」としていますが、国は保育士の労働条件をあげ、保育士さんを増やすこと、保育所を増やすことに力を入れるべきです。この条例には反対をしました。

会派視察に行ってきました

8月22日(月) 23日(火) 共産党議員団4人で、東京都足立区と国立市に視察に行ってきました。

足立区「子どもの貧困対策」について

足立区は児童扶養手当の受給者数は20年間で、1.8倍に増え、就学援助率も小・中ともに国や都の平均値を大きく上回っていて、国平均の2.4倍となっています。

ています。また、貧困の連鎖をたちきるために、親と子にたいする養育支援も力を入れていきます。担当者の「貧困と貧乏は違う。お金のないのは貧乏だが、貧困は生活全体に関する」ということが印象的でした。

国立市「介護予防・日常生活支援総合事業」について

2014年に「子どもの貧困対策本部」を設置し、2015年には「未来へつなぐ あだちプロジェクト(足立区子どもの貧困対策実施計画)を策定し、本格的な取り組みをはじめられています。

国立市は面積815キロ平方メートル、人口約75,000人、高槻市と比べると小さな市です。

2015年には総合事業に移行しています。1人暮らしの認知症でも安心して暮らすことができるようにと認知症対応にも力を入れていきます。介護保険の目的を改めて市民と共有しよう、地域支援の

「健康・生活」「推進体制の構築」3つの計画をたて、学力向上のための講師を配置、つまずきの早期解消を図ったり、学習支援ボランティアの派遣や、まなびの環境を支援すること

視点をもとうと考えられています。また、在宅ケアの取組みも進めています。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、学識経験者、社会福祉協議会、歯科衛生士、介護職、市民、行政などで在宅医療推進連絡協議会をつくり、24時間体制のあり方を検討しています。市直営の包括支援センターや、7箇所の訪問看護ステーションが全

2015年には総合事業に移行しています。1人暮らしの認知症でも安心して暮らすことができるようにと認知症対応にも力を入れていきます。介護保険の目的を改めて市民と共有しよう、地域支援の

福祉避難所の検討もされています。認知症の方の避難場所も検討中という事です。

高槻市も来年から要支援1、2の方の在宅の介護が「総合支援事業」に移行します。1人暮らしになっても安心して暮らすしていくことができます。体制や人的支

援を考えていかなければならないと思います。

9月議会日程

9月7日(水) 本会議/提案理由説明

9月9日(金) 本会議/質疑

9月13日(火) 文教市民委員会

福祉企業委員会

9月14日(水) 都市環境委員会

総務消防委員会

9月26日(月) 本会議/採決

一般質問

9月27日(火) 本会議/一般質問

ぜひ傍聴をお願いいたします。 ※いずれも午前10時開会です。

